

ACE 人権通信 5月

人権教育・啓発通信：「エース」
発行：阿南中学校PTA家庭・人権教育部
2026年5月22日（金）
文責：人権教育主事 吉野 有佳

141人の新入生を迎え、新年度がスタートしています。1年生もすっかり阿南中学校にも慣れ、授業、学校行事に一生懸命取り組んでいます。2年生は今月末にある修学旅行に向けて、学年で準備をし、3年生は1年後の進路実現に向けて、テストに取り組んでいます。

そのような中、5月14日（木）に第60回阿南中学校体育祭が行われました。ゴールデンウィーク前から学級で、パフォーマンスの練習を始めたり、学級旗のデザインを考え始めたりしました。1年生は初めての体育祭で、初めは行進のかけ声も小さかったのですが、2、3年生が大きな声を出し、全力で練習に取り組んでいる姿を見て、だんだんと練習の雰囲気もよくなっていきました。これまでの体育祭の感想の中に「『がんばる人はカッコいい』ということにやっと気づきました」とありました。力を合わせて優勝をめざすことも大事ですが、体育祭などの学校行事ではそれ以上のことを自ら学ぶことができるのだと改めて思いました。みなさんは、体育祭でどんなことを学んだのでしょうか。そして、これからの学校生活で何を学んでいくのでしょうか。今年度はまだ始まったばかりです。これからのみなさんの成長を楽しみにしています。



準優勝をとることができました。まり入れと長縄で1位をとることができました。走るのも楽しかったです。休んでいた子の分もみんなでがんばりました。とにかく楽しかったです。いい思い出になって、うれしいです。（1年 大西 純輝）

私が1番心に残ったのは、みんなでジャンプです。いつも練習を重ね、みんなで息を合わせて一生懸命跳びました。でも、練習では何度挑戦しても10回くらいしか跳べませんでした。そして本番、36人が心をつなげて跳んだら、44回跳ぶことができました。本当にうれしかったです。「もう無理だ」「やりたくない」と練習で思った人がいたとしても、本番36人の心が一つになったことは結果に残されたと思います。朝早くから準備してくださり、片付けもしてくださった先生方、応援に来てくださった保護者のみなさん、ありがとうございました。（1年 丸岡 桃歌）

初めての体育祭とっても楽しかったです。自分の全力を尽くしました。体育祭の競技の中で1番思い出深いのは、長縄です。私のCチームは練習では15回くらいまででしたが、本番はなんと22回も跳ぶことができました。みんなが1つになっていると感じ、最高の時間だったと思っています。学年で比べたとき、順位はあんまりでしたが、「勝つこと」より目標にしていた「絆を深める」ことができたと思います。1-3最高！！（1年 長尾 綾夏）

初めての体育祭はよかったと感じます。初めの行進パフォーマンスも少なかった練習の中で、思った以上に良いものになりました。かけ声もととてもすばしかったです。綱引きは全員が一致団結し、すばらしい功績を残せたことがとてもうれしいです。選抜リレーはみんなの応援が今でも心に残っています。みんなの心が通じ合ってなせたことなので、優勝できなくても大変満足しています。（1年 丸山 詩織）

まり入れやなわとびで、学級の記録を大きく更新できました。今までの練習ではまり入れは、30個程度だったのが、本番になると約50個と多くなっていました。体育祭での熱量とさらに深い団結力が結果の向上につながったと思います。なわとびではCチームの記録が伸び悩んでいたのが本番では練習をはるかに超える記録が出てうれしかったのが心に残っています。あの時の胸の高鳴りは今でもしっかりと覚えています。（2年 吉岡 悠）

私は大縄跳びが心に残りました。少し失敗してしまった時も皆が優しい前向きな声かけをしてくれたので、楽しく跳べたからです。そして、カモンロッソも皆で全力を出してパフォーマンス賞をとることができて、すごく心に残っています。皆と心をつなげて、同じ目標に向かって進む、団結力が鍛えられました。そして、何事にも全力で取り組むことの楽しさや大切さがすごく分かりました。（2年 中川 都玖未）

私はこの体育祭で、みんなで一生懸命頑張って優勝することの楽しさを知ることができました。ほとんどの競技で3組は本番で、新記録を出すことができたし、みんなで本気で楽しむ大切さを知ることができたことが成長です。（2年 三木 愛梨）

1人1人が全力を尽くせるように応援をがんばりました。できたことは少なかったと思うけれど、少しでもみんなの力になったなら、うれしいです。優勝はできなかったけれど、みんなで楽しめたと思います。（2年 川村 わかば）

中学最後の体育祭ですべてやりきりました。3年生全員でやった円陣は最高でした。今までしたことない大きい円陣で盛り上がったのが印象に残っています。3年1組だからこそ、優勝できたし、最高の思い出が作れたと思うし、この1、2、3年生だからこそ、いい体育祭になったと思います。（3年 品川 港登）

体育祭はうまくいったり、いかなかったりの連続で少し不安部分があったけれど、みんなでジャンプのときに、みんなで円陣を組んで気持ちを高ぶらせたとき、不安部分がすべて吹き飛んで、やる気に満ちあふれていました。結果は100回以上跳んで1位でした。優勝できなかったのは悔しかったけれど、最後の体育祭とても楽しかったです。（3年 梶井 或）

クラスのテントからクラスメイトの応援の声がたくさん聞こえてきて、とてもうれしかったです。結果、リレーでは1位をとることができて、とてもうれしかったです。みんなが全力で応援する姿を見て、私もたくさん応援しました。最後の体育祭、楽しい思い出ができてよかったです。思い出の数＝幸せの数！（3年 寺崎 亜美）

みんなが本気で精一杯戦って“オール5”とれたのもいい思い出になりました。負けても誰かを責めることがなく、たたえ合っている姿を見て、最高のクラスだと思いました！中学校最後の体育祭、この3-4のメンバーで力を合わせて戦えてよかったです。（3年 炭谷 沙咲）

前に出て何かをしたり、積極的に何かに取り組むのが苦手な私は、体育祭に全力参加できるか不安でした。でも、いざ体育祭本番になると、気にする暇もなく全力で楽しむことができました。この体育祭は私にとって全力で取り組むことの大切さと一致団結することでしか得られない楽しさを改めて知る機会になりました。中学校生活最後が3年5組で本当に良かったです。（3年 細井 梨花）